

社会福祉法人 長幼会

令和4年度 事業報告書



心を支える 支え合う「心の花」

目 次

1	はじめに	1
2	令和4年度事業報告	1
3	事業ならびにその運営状況.....	4
4	理事・監事・評議員	4
5	理事会の開催状況	5
6	評議員会の開催状況	6
7	各種委員会	7
8	一般経過報告.....	8
9	すくすく保育園事業報告	10
10	千丸台保育園事業報告	18
11	横浜みなとみらい保育園事業報告	26
12	玉川保育園事業報告	33
13	新井小学校放課後キッズクラブ事業報告	42

社会福祉法人 長幼会 令和4年度事業報告

【はじめに】

令和4年度は、社会福祉法人として果たすべき社会的責任を念頭に取組んでまいりました。

新型コロナウイルス感染症の急激な拡大の影響で、園児、職員の感染が多発し、登園自粛要請の周知や園内の感染症予防対策を強化し、安心・安全な園運営に取り組んでまいりました。しかし、様々な園行事や地域行事においては縮小せざるをえない運営の現状でありましたが、各園創意工夫を念頭に取組み、充実感も得られ、成果と発展もありました。

今年度すくすく保育園において、4月のスタート時点0歳児の入園が1名という現状であり、経営と運営において、今後、4園が考えなくてはならない大きな課題が浮き彫りになりました。

今までは、待機児童対策で子どもの受け皿確保「量」を重視した保育経営でしたが、これからは保護者から選ばれる園、保育の「質」の強化が必要となります。

地域社会、保護者から「質の高い保育園」「質の高い保育士の在職」「安心して預けられる園」と求められる経営と運営を社会情勢に応じて変容させていく必要があります。

今年度の事業計画の重点目標に掲げた「次世代管理職の育成」「新採用職員研修の充実」「職員育成研修の強化」が「質」の高い保育園経営につながります。来年度においては、職員研修の更なる充実と向上を目指していくことが各園の課題解決につながります。

長幼会として、持続的発展に向け事業を推進していくことから、次に掲げる課題にも引き続き積極的に取り組んでいきます。

【令和4年度重点課題】

- 1) 次世代管理職の育成
- 2) SDG's~17の目標への取り組み
- 3) 新採用職員の研修の充実
- 4) 職員の育成強化と研修の充実を図る
- 5) コミュニケーション・人間関係の構築
- 6) 本部機能の強化と部局への支援体制
- 7) 質の高い園経営・園運営と質の高い保育士の育成

I 令和4年度事業報告

(1) 法人運営の持続的発展に向けた取り組み

- ① 理事会と評議員会の開催については、法人の持続的発展と事業運営の円滑な推進に向けて、課題に対する審議・確認を行ってきました。
- ② 法人本部、機能体制を明確にし、各事業所への運営支援に努めました。課題については共通理解と改善を図り、円滑な運営につなげていきます。

(2) 事業運営の透明性の向上に向けた取り組み

- ① 閲覧対象書類の拡大に伴い、情報公開の面から法人各事業所の情報を迅速かつ円滑に発信できるようにハード・ソフト（ビートの設置、チャイルドケアWEB等）の両面から整備を図ることができました。また、データのバックアップ及び共通利用の観点からクラウドの導入も検討してきました。
- ・事業報告、事業計画、計算書類、現状報告、役員報酬基準など、公表に係るものについてコンプ

ライアンスの面から速やかに対応するとともに、各種法改正の施行に合わせ関係規定の見直しを遅滞なく推進し、改定を実行しました。

- ・情報公開を積極的に進めることから、法人ホームページ、採用ホームページなどソフト面からの見直し、作成に向けたPC周辺機器の整備を図ってきました。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の端を発したニューノーマルとしての新たな生活様式に対応するための仕組みとしてICT（情報通信技術）の導入をすすめることができました。

インターネットを活用した保護者への情報提供、PCを活用したリモート面接やオンライン研修等、環境整備に伴う機材の導入とセキュリティ対策の整備にも努めました。

- ・広報誌の活用に関しては、必要に応じて都度対応してきました。

- ② 行政監査の定期的な受審と事業所の自己評価を進め、結果については、法人ホームページで公開してきました。他にも保護者アンケート等を取り入れ、事業運営の透明性の向上に努めてきました。

(3) 財務規律・基盤の強化

社会福祉法人会計基準に基づく会計処理はもとより、税理士法人アイ・パートナーズと連携を図り、支援を行ってきました。

- ・経理規定の遵守 ～ 適正かつ公正な資質管理の確保、会計処理に努めました。
- ・予算管理の徹底 ～ 月次の状況を踏まえ、補正予算の編成を行いました。

(4) 地域における公益的な取り組みの推進

地域における公益的な取り組みに向け、地域貢献を主とした推進計画を進めてきましたが、設定まで至りませんでした。

(5) 新たな事業の開拓に向けた取り組みの推進

法人としての総合力を活かせる事業の創出に向け、ヒアリングや意見交換をし、検討してきましたが、取り組みの推進までは至りませんでした。今後の課題と感じています。

(6) やりがい、働きがいのある法人を目指す取り組み

法人の理念「職員は豊かな愛情を持って児童に接し、児童の最善の利益を尊重するための知識の習得と技術の向上に努めます」の趣旨や目的を研修して、法人職員としてのやりがいや保育士としてのやりがいと魅力「子どもの成長の支援からの喜び」「働く保護者の手助けからの感謝」が働きがいにつながっていくことの研修を通して取り組みに努めました。さらなる研修の必要性を感じています。

キャリアパスに基づく職務・賃金処遇の在り方については、検討してまいりましたが解決に至るまでにはいかず、引き続き検討してまいります。

(7) 福利厚生制度の充実

- ・職員の将来設計に向けた人事処遇制度の検討を進め、横浜3園に副園長を配置しました。
- ・保育士宿舍借上げ支援制度に伴う借り上げ社宅の適正運用を図り、入居基準の見直しを適切に遂行しました。
- ・様々な保険会社と保障内容の比較を行い、AIG損害保険会社「業務災害総合保険」に継続して加入することにより、保障内容の充実と経費削減につなげることができました。
- ・法人独自の退職金制度については、引き続き検討しています。
- ・余暇の有効活用に資する施設との法人契約は継続します。

II 重点目標の取組みの成果と課題

(1) 次世代管理職の育成

長幼会組織と園経営・運営の展望を考えると管理職の育成に伴う中間管理職の育成は急務であります。

園長をサポートし、園長の方針や思いを職員に浸透する要の次期主任候補や職員の意見や要望を集約・整理し、保育の充実と職員の各部門でまとめるリーダーである副主任の人事構成についても例年各園において、苦慮している現状に対し、改善に努めるようサポートし、計画を立案し提案してきました。

中間管理職は、組織体制の重要な要であるため、求められるスキルの数が多く存在し、計画に基づいた育成に課題は残った。法人の設定している各キャリアステージにおける資質能力の獲得、向上の先に管理職としての選択肢の展望を視野に「人間力を高め、資質向上・定着に向けた取り組み」の具体的な研修を計画し、次期管理職の育成に努めていきます。

(2) SDG's ~17の目標への取組み~

各事業所の特色を活かし17の項目の中で子どもたちが将来、社会に生き抜く力を身に付け、安心して生活したり、社会貢献できるために、子どもたちの意見や考えを大切にし、目標やテーマを掲げ子どもたちの発想や創造性を取り入れ、保育支援・活動の中で培えることができました。引き続き、職員と子どもたちの協働で発展した取り組みに努めていきます。

(3) 新採用職員の研修の充実

長幼会職員としての使命感を養うとともに、幅広い識見を習得し実践的な指導力向上を図り、育成すべき資質能力を明確にし、保育力の向上と豊かな人間性の研修に各園の特色を活かし推進しました。さらに本部面接も行き、研修の進行や育成確認とサポートやアドバイスにも努めました。さらなる充実した計画と取り組み体制の推進に努めていきます。

(4) 職員の育成強化と研修の充実を図る

職員の資質・能力の向上や人材育成に努め、より良い園経営と園目標達成を果たすため、育成計画と研修計画を提示し、推進を図りましたが充実までには至りませんでした。

社会情勢の変容により、保護者から選ばれる園、質の高い園を目指す根幹として、次年度、研修の充実を図り成果と発展につなげていきます。

(5) コミュニケーション・人間関係の構築

法人の理念でもある「思いやり」を視点においた人間力向上研修を通して思いやりからおもてなし（相手の喜ぶことを積極的行う）ができる職員育成を目指し、困っている職員を見逃さない」豊かな心の育成と法人職員としての自覚と責任を持ち「チームワーク」を大切に、職員同士が仲間と認めあえるように人間形成の研修計画を図りました。職員だけでなく子どもの育成にも職員として重要な研修と位置づけ、より充実した研修計画と研修の取組みを推進していきます。

(6) 本部機能強化と部局への支援体制

本部機能・本部体制を明確にし、「経理・総務・人事」「法制度改正・財務指標」「事故把握・リスクマネジメント」「職員管理・人事管理・職員育成」の本部組織体制を図り、各事業所への運営支援に努めました。体制機能の共通理解や管理周知の徹底不足もあり、課題が残りました。

来年度、共通理解と改善を図り円滑な運営につなげていきます

(7) 処遇改善等加算Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの円滑な運営

子育て支援新制度の一環として、施設型給付における処遇改善に関わる加算が設定されています。その中では、「キャリアパス要件」を満たす事が必修であり、法人としてのキャリアパスイメージを作成し、職員の経験年数に応じ、保育士に求められる資質や役割を明確にしながら、更なるステップアップにつながる研修体系と処遇を連動する仕組みを構築し、規定に基づき適切な処遇とそれに伴う育成に努めました。

役職・役割研修受講後の自己研鑽や研修の還元など、園運営や保育実践を研修を活かす目的については来年度の課題として取り組んでいくこととします。

Ⅲ 事業並びに運営状況

定款の定める事業目標達成のため、保育所並びに放課後キッズクラブの運営に努めてきました。

保育所保育指針に基づき、改定において規定された保育の内容に関わる基本原則事項を踏まえ、長幼会各園における実情に応じて創意工夫を図り、保育所の機能及び質の向上に努め、地域や利用者から愛され信頼される保育園を目指し、保育目標「思いやりのあるたくましい子の育成」の達成に向け、職員一同、子どもの人権を守り、真心と愛情を持って子育て支援に取り組んできました。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中で園行事・活動が制限されるという現況下で、園児、職員の感染も多大し、臨時休園や縮小経営を余儀なくされる施設もあり、対策に追われたことから、利用者地域に信頼される地域の福祉拠点としての役割「子育て支援」や「イベント・行事」の取り組みが不十分の結果となりました。

少子化の加速や社会が変動していく時代に保護者・地域から「選ばれる保育園」「質の高い保育園」「質の高い保育士の在籍」と評価され、明るく希望の持てる長幼会の発展と展望を考え、これからの保育園の役割・機能のあるべき方向性と在り方として「中長期計画」（令和5年から令和9年の5年間）を設定しました。

計画を掲げることが目的ではなく、計画に掲げた目標の課題解決に向けて、「具体的に何をするのか」「どんなゴールを目指すのか」を明確にし、社会福祉法人としての役割と使命感を活かして目標達成に努め、地域社会に貢献できるように取り組んでいきます。

【年間施設利用状況】 ※年間保育日数は、保育園 293 日、キッズクラブ 293 日

施設名	利用状況			
	定員	1日平均利用者数(人)	年間利用者数(人)	年間利用率(%)
すくすく保育園	59	46.3	13,574	78.5
千丸台保育園	100	65.7	19,260	65.7
横浜みなとみらい 保育園	120	92.1	26,995	76.8
玉川保育園	135	96.1	28,154	71.2
新井小学校放課後 キッズクラブ	103	32.3	9,463	31.4
計	517	332.6	97,446	---

Ⅳ 理事・監事・評議員

令和4年度の理事（6名）、監事（2名）、評議員（7名）は次の通りです。

理事長 水野 恭一

業務執行理事	水野 尊仁				
理事	林 浩子	相原 陽子	木下 かおり	小林 純子	
監事	佐野 忠昭	太田 正行			
評議員	高橋 今朝次	栗原 泰光	箕輪 高博	八木下 和雄	
	田中 千津子	澤 信一	田中 香南江		

V 理事会の開催状況

定款第5章に定める各条項に基づき、下記の理事会を開催しました。

(1) 第4回理事会 令和 4年 5月25日(水) 於：都筑ハートフルステーション「会議室」

出席者数： 9名

理事： 6名

監事： 2名

法人職員： 1名

議事： 第一号議案 令和3年度事業報告に関する件

第二号議案 令和3年度決算及び監事監査報告に関する件

第三号議案 令和4年度定時評議員会招集に関する件

その他(報告事項)

第3回理事会議事録の確認

理事長・業務執行理事の業務施行状況について

(2) 第1回理事会 令和 4年 9月20日(火) 於：都筑ハートフルステーション「会議室」

出席者数： 9名

理事： 6名

監事： 2名

法人職員： 1名

議事： 第一号議案 令和4年神奈川県最低賃金引上げに伴う対応に関する件

第二号議案 玉川保育園大規模修繕工事に関する件

第三号議案 個人情報保護方針策定に関する件

第四号議案 経理規程の一部改訂(案)に関する件

その他(報告事項)

令和4年度 横浜市一般指導監査結果について

令和3年度第4回理事会議事録の確認について

理事長・業務執行理事の職務執行状況報告について

(3) 第2回理事会 令和 4年11月15日(火) 於：都筑ハートフルステーション「会議室」

出席者数： 9名

理事： 6名

監事： 2名

法人職員： 1名

議事： 第一号議案 玉川保育園大規模修繕の手続きに関する件

第二号議案 令和4年度補正予算(案)に関する件

第三号議案 令和4年度第1回評議員会(12月9日)の招集に関する件

その他(報告事項)

令和4年度第1回議事録の確認

令和4年度一般指導監査結果の報告（川崎市）

理事長・業務執行理事の職務執行状況報告について

(4) 第3回理事会 令和5年3月6日（月） 於：都筑ハートフルステーション「会議室」

出席者数： 9名

理事： 6名

監事： 2名

法人職員： 1名

議事： 第一号議案 令和5年度事業計画（案）に関する件

第二号議案 令和5年度予算（案）に関する件

第三号議案 役員（理事・監事）の任期満了に伴う対応に関する件

第四号議案 諸規程の一部改訂（案）に関する件

第五号議案 玉川保育園大規模修繕今後の進め方に関する件

第六号議案 令和4年度第2回評議員会の招集に関する件

その他（報告事項）

令和4年度第2回理事会議事録の確認

理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告

VI 評議員会の開催状況

定款第3章に定める各条項に基づき、下記の評議員会を開催しました。

(1) 第2回評議員会 令和4年4月8日（金） 於：都筑ハートフルステーション「会議室」

出席者数： 12名

評議員： 7名

監事： 2名

理事： 2名（理事長・業務執行理事）

法人職員： 1名

議事： 第一号議案 委託業者の変更及び新規委託等の承認に関する件

第二号議案 令和4年度事業計画（案）の承認に関する件

第三号議案 令和4年度予算（案）の承認に関する件

第四号議案 保育士等処遇改善臨時特例補助金取扱運営細則の制定承認に関する件

第五号議案 就業規則の一部改訂（案）の承認に関する件

第六号議案 給与規程の一部改訂（案）の承認に関する件

第七号議案 育児・介護休業等に関する規程の一部改訂（案）の承認に関する件

第八号議案 個人情報取扱規程の一部改訂（案）の承認に関する件

報告事項： 1 評価結果を反映した処遇改善等加算Ⅰ・Ⅱの支払について

2 令和3年度第1回評議員会議事録の確認

3 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告について

(2) 定時評議員会 令和4年6月22日（水） 於：都筑ハートフルステーション「会議室」

出席者数： 12名

評議員： 7名
監事： 2名
理事： 2名（理事長・業務執行理事）
法人職員： 1名
議事： 第一号議案 令和3年度事業報告承認に関する件
 第二号議案 令和3年度決算及び監事監査報告の承認に関する件
報告事項： 1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告
 2 第2回評議員会議事録の確認

(3) 第1回評議員会 令和4年12月 9日（金）於：都筑ハートフルステーション「会議室」

※評議員会招集及び決議省略の手續きに基づく評議員会
出席者数：12名（評議員全員の同意・監事全員の異義なし）
評議員： 7名
監事： 2名
理事： 2名（理事長・業務執行理事）
法人職員： 1名

議事： 第一号議案 玉川保育園大規模修繕の手續き承認に関する件
 第二号議案 令和4年度補正予算の承認に関する件
報告事項： 1 令和4年度定時評議員会議事録の確認
 2 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告
 3 令和4年度一般指導監査結果の報告

(4) 第2回評議員会 令和5年 3月22日（水）於：高島自治会館「会議室」

出席者数：11名
評議員： 6名（欠席1名）
監事： 2名
理事： 2名（理事長・業務執行理事）
法人職員： 1名
議事： 第一号議案 令和5年度事業計画の承認に関する件
 第二号議案 令和5年度予算の承認に関する件
 第三号議案 役員（理事・監事）の任期満了に伴う対応の承認に関する件
 第四号議案 玉川保育園大規模修繕工事 今後の進め方の承認に関する件
 第五号議案 諸規程一部改訂の承認に関する件
 第六号議案 給与規程の一部改訂（案）の承認に関する件
報告事項： 1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告
 2 第1回評議員会議事録の確認

VII 各種委員会

令和4年度事業計画を遂行するため、下記委員会を開催して円滑な事業運営に努めてきました。

なお、令和2年1月に発生した新型コロナウイルス感染症の感染収束が見えない中で、引き続き感染防止の観点から「3密」を防ぐために諸会議の開催自粛をしつつも、リモートを活用したWEB会議等、事業運営の遂行に支障をきたさないよう工夫し、必要な会議体に絞り開催してきました。

(1) 企画準備会

理事長の諮問機関として、日常的な課題はもとより、短期・中期に及ぶ課題の抽出や法改正に伴う諸規程類の制定・改正の検討等を進め、事業の円滑な遂行に資することを目的に開催してきました。

整理した内容については、企画運営会議、園長会、理事会等に提起してきました。

(2) 企画運営会議

法人の理念・方針等基本的考えの共通理解を図り、管理者の意思統一を図る場として、法人の事業全般にわたる企画、立案、計画等基本的な事項について審議するとともに、理事会への提出議案や報告事項の確認の場として、毎月定例的に開催することを基本に開催してきました。

(3) 合同園長会

法人各事業所（四つの保育園）の円滑な運営及び各種の連携を図ることから、各事業所の課題、人材育成に向けた研修・人事評価の運用に向けた課題、企画、イベントなどを持ち寄り、より良い園運営・保育を目指すことから相互の保育所運営に反映する場として開催してきました。

(4) 合同主任会議

各園の保育に関する事項や行事・研修等の連絡調整を図るとともに、保育主任としての共通理解を踏まえる場として、また、主任として評価制度における自己観察書の理解を深める研修など、新型コロナウイルス禍ではあったものの、リモートを活用したWEB開催も含め開催してきました。

(5) 合同看護師会

各園の感染症発生状況の把握、保健業務内容等の情報交換をはじめとし、園児、保護者、職員の健康促進のために保健的な見地からの援助・指導に反映することから開催してきました。また、日常から各施設との情報共有を密にするとともに、横浜みなとみらい保育園の安全衛生委員会に参加し、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止や公衆衛生の向上に努めてきました。

(6) 合同事務会議

各事業所における会計及び事務処理手続きの課題や法対応に絡む手続き等の共通理解を深め、会計処理や事務処理を円滑に進めるための場として開催してきました。

今年度は年末調整事務の内製化に向け、税理士法人「アイ・パートナーズ」の協力を得ながら各園での情報共有を図り、引き続き年末調整の処理を実施してきました。

(7) 合同栄養士会議

安全かつ衛生的な食事作りを基本とし、各園での取り組み情報を共有するとともに、一般指導監査で指摘された改善指導に対する各園の改善策をについて意見交換し、給食提供に反映してきました。

VIII 一般経過報告

(1) 法人諸規程の見直し

労働法制の改正に伴い見直しを行った諸規程等及び横浜みなとみらい保育園産業医・衛生管理者選任届を7月に横浜北労働基準監督署に提出してきました。届出た諸規程類は次のとおりです。1) 給与規程、2) 就業規則、3) 育児介護等に関する規程、4) 個人情報取扱規程、5) 産業医・衛生管理者選任届、なお、就業規則の改正に伴う条文の繰上、繰下等に関わる関連規程の条文整理を実施するとともに、規程管理規程に反映してきました。

また、一般指導監査において指摘された経理規程についても見直しを図りました。

(2) 令和4年度一般指導監査について

横浜市こども青少年局総務部監査課、川崎市こども未来局総務部による社会福祉法人長幼会が運営する保育園に対する令和4年度一般指導監査は下記日程で実施され、結果、文書指摘事項はありませんでした。なお、具体的な保育、給食、経理等の改善に向けた指導については、即対応できるものについては即実施、検討が必要な事項は各保育園の企画会議等で検討し、改善を図ってきました。

① 一般指導監査

- ・千丸台保育園 令和4年 9月 9日(金) 9:30~12:00
- ・横浜みなとみらい保育園 令和4年 9月 9日(金) 14:00~16:30
- ・すくすく保育園 令和4年 9月12日(月) 9:30~12:20
- ・玉川保育園 令和4年10月25日(火) 9:00~17:00
(実地監査から書面監査に変更)

② 新井小学校放課後キッズクラブ監査・運営状況調査立ち入り調査 令和4年11月末迄

横浜市保土ヶ谷区子ども家庭支援課による新井小学校放課後キッズクラブに対する令和4年度自己検査及び立入調査が実施され、当クラブとして添付ファイルに基づき調査資料を提出してきました。結果、運営に影響する指摘事項はありませんでした。

(3) 玉川保育園大規模修繕計画の策定

玉川保育園大規模修繕については、川崎市と国庫補助金交付基準額を設定するための3社見積のうち法人が選定する2社について法人として決定したうえで、事前協議書と見積書を川崎市に提出し、川崎市が選定した業者との間で見積最低金額を決定してきました、国庫補助金の内示は令和5年4月中旬に示され、5月中旬に補助金申請書を提出し6月に国から補助金交付が決定される運びとなります。

(4) 神奈川県最低賃金の決定

2022年度神奈川県最低賃金の引上げ(10月1日実施予定)に伴う時給1071円に対し、検証を行い、時給を31円引き上げることとしました

【神奈川県最低賃金】

1,071円(1,040円)R4.10.01より適用 (法人内最低賃金 1,071円)

※括弧内は令和3年度最低賃金

(5) 職員採用に向けた対応

☆「保育士オンライン就職相談会 in 横浜」のブース出展(委託事業者 株式会社リンク「えんみっけ!」)
横浜市こども青少年局委託業者(株)「えんみっけ」事務局が主催する就職相談会(7月10日)にオンラインを利用したブース出展に参加し、法人ブースに来訪した2名の園見学に繋がりました。
日時: 令和4年7月10日(日) 14:00~16:00
場所: すくすく保育園「事務室」 オンラインツール「Remo」使用



令和4年度 すくすく保育園 事業報告

定員59名 (在籍72名)

1 施設運営状況

働き方改革に伴う保育ニーズの変化、出生児の減少等、保育園を取り巻く環境は大きく様変わりしました。また、コロナ禍で0歳児から預ける事への不安や在宅ワークの増加等、仕事内容も変化し0歳児から保育園を利用する家庭が減少しました。園としても、0歳児の定員を減らし、1歳児の受け入れ人数を増やすなど、定員の見直しと変更を行いました。0歳児は保護者の方の入所時期の考え方もあり、運営面では厳しい状況の中でのスタートとなりました。区役所と情報共有しながら、パンフレットの設置や園の外にある掲示板の利用、郵便局への園児の制作物の展示等、園を知ってもらう取り組みや電話での問い合わせや見学に来られた方との育児・離乳食相談を通し年度の後半には定員の25%増までの利用人数になり委託費収入の安定に繋がりました。また、職員体制については、横浜市の配置基準の中で、職員間で連携を取りながら保育を進めることで人件費の支出を抑えてきましたが、療休や産休等で余裕のない職員配置の中での運営になりました。年度当初の0歳児の定員減については、今後も続くものと考えられることから、園運営については引き続き検討課題として、0歳児の入所時期の見通し、配置基準を遵守しながらの職員採用に取り組んでいきます。

2 利用者支援状況

コロナ禍の保育ということで、看護師と共に感染防止対策に努め、より良い環境の中で保育をするための方法を考え、整えながら安全・安心して過ごすことができるよう努めました。

*園の立地条件を利用し、園外保育・菜園活動・園の回りの生き物の飼育を通して四季の移り変わりを全身で感じたり、日々の保育の中で体験・発見・感動したことを受け止め、共有し保育に繋げてきました。



(かまきりの飼育記録)

*生き物については、新しい命との出会いを期待しつつ、成長の様子を子どもたちと一緒に共有し保育につなげています。

*配慮・援助を要する子どもへの対応については、専門機関との連携をとりながら成長を援助するとともに、該当クラスに加配の職員を配置するなど安心して生活できる環境の整備に努め、保護者との信頼関係を築きながら、子どもたちに対する共通理解を深められるよう取り組みました。情報は職員会議、記録書で共有し、全員が共通理解をし適切な対応をしてきました。

【月間利用状況】 (各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	30	30	32	32	32	31	32	32	32	32	32	32	379	31.6
女児	31	31	32	32	35	37	39	40	40	40	40	40	437	36.4
計	61	61	64	64	67	68	71	72	72	72	72	72	816	68.0

【年間利用者状況推移】（各年度3月1日）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
令和元年度	10	12	13	12	13	12	72
令和2年度	10	12	13	13	12	13	73
令和3年度	9	12	12	13	13	12	71
令和4年度	9	12	13	12	13	13	72

3 職員の状況

- * 職員体制については、産休や療休等で休みを取得した職員の補充が思うようにできず、余裕のない保育体制でしたが、横浜市の配置基準の中で連携を取りながら保育を進めてきました。
- * 法人内の連携として、年度の後半に千丸台保育園より職員が応援に来ました。姉妹園の職員と意見交換をすることにより、自園の保育を振り返る良い機会に繋がりました。
- * 園内改革2年目ということで、「園運営は全員で行うもの」ということを意識し、前年度末に園に対する一人一人の思いを出してもらい、それを基に職員全員で話し合い、園としてのスローガンと今年度目指す保育についての目標設定を策定し、常に意識できるように事務所に貼りだし、各クラスの目標についても、毎月のクラス会議の際に1か月の振り返りと共に職員間での意識の共有を図ってきました。
- * キャリアアップ研修だけでなく、個々の目標・経験年数・園として求めるものを双方で確認し、全員が研修を受け、自身の振り返りや課題に目を向ける機会に繋がりました。
- * 業務改革の一つとして、横浜市からの補助金制度を利用しICT化のシステム導入を行いました。「ICT業務に関するネットワークの取扱い」の説明共に誓約書を交わし、3月より使用を開始しました。職員の業務軽減・書類の簡略化に繋がりました。

職名	令和4年4月1日の職員数					年間退任・就任										令和5年4月1日の職員数 (常勤換算は3月分)									
	正規職員	有期契約職員			計	正規職員		有期契約職員						正規職員	有期契約職員				実人員合計	常勤換算					
		契約職員	非常勤A	非常勤B		就任	退任	契約職員		非常勤A		非常勤B			就任計	退任計	契約職員	非常勤A			非常勤B	常勤換算			
								就任	退任	就任	退任	就任	退任												
園長	1				1															1	1				
副園長	1				1															1	1				
保育士	16			4	20		2							1					3	14	4	1.2	18	15.2	
看護師	1				1															1			1	1	
栄養士	2				2															2			2	2	
調理員	1			3	4															1		3	0.9	4	1.9
事務員	1				1															1			1	1	
保育補助			1	1	2						1		1												
用務																									
嘱託医					2	2																	2		2
計	23	0	1	8	32	0	2	0	0	0	1	0	2	0	4	21	0	0	7	2.1	28	23.1			

* 臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。（職員計には嘱託医含まず）

4 施設整備状況

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の補助金を利用し、0歳児のサンルームの床の張り替えと、各保育室・園児トイレ・1階ホールの水道の蛇口を自動水栓に切り替えました。

5 年間行事報告

*新型コロナウイルス感染症の発症状況を見ながら、年長児のお泊り保育、お別れ遠足の日程を変更しました。

*運動会・発表会は制限を設けながら保護者の方に見ていただける機会を設けました。

月 日	行事名	月 日	行事名
4月1日	入園式	11月16日	焼き芋会
4月28日	子どもの日を祝う会	12月10日	発表会
5月30日	じゃがいも掘り（澤さんの畑）	12月13日	餅つき会
6月4日	ふれあい祭り	12月22日	お楽しみ会
6月13日	歯磨き指導（幼児）	1月13日	だんご作り・どんど焼き
6月28日	プール開き	1月19日	お店屋さんごっこ
7月7日	七夕会	1月27日	お別れ遠足（年長児）
8月26日	すくすくデイキャンプ（年長児）	2月3日	節分会
8月30日	プール納め	2月11日	和太鼓成果発表会（年長児）
9月1日	総合防災訓練	2月25日	新入園児説明会（個別）
9月8日	敬老の日の集い	3月2日	バチ譲渡式
10月8日	運動会	3月3日	ひな祭り会
10月19日	さつまいも掘り	3月18日	卒園式
10月20日	幼児園外保育	3月28日	幼児お別れ会
10月28日	なかよしパーティーごっこ	3月31日	進級式

6 健康管理

常勤の看護師を配置し、必要に応じて園医・医療機関・関係機関と連絡を取り、子ども一人一人の発育発達に合わせ、安全に過ごすことができる環境作りを行いました。また、姉妹園で開催されている安全衛生員会に参加し、産業医からの講義や資料等の情報を園の中で活用してきました。

- ・登園時の検温や視診、看護師がクラスを回り、連絡帳の確認とともに健康観察・午睡明け全園児の検温を行い必要に応じて保護者への連絡を行い、病気の早期発見に努めました。
- ・予防接種のすすめや区からの感染症情報の掲示等、保護者に情報発信を行ってきました。
- ・全園児を対象に独立行政法人日本スポーツ振興センターと災害共済給付契約を結び、園での病院受診の際に必要なに応じて手続きを行いました。
- ・事故対応マニュアル・感染症マニュアルを作成し、全職員が同じ対応をできるよう、職員会議・日々のミーティングで周知・演習を行いました。
- ・SIDS（乳幼児突然死症候群）の対策として、0歳児は5分、1歳児は10分ごとにブレスチェックを行いチェック表に記入し予防に努めました。

<保育室衛生管理>

- ・日に2回、看護師が園内に消毒を行い、集団感染の予防に努めました。
- ・手洗いの水道前やプールのシャワー場所にディスタンスシールを貼り、ひとりひとりの距離を保てるよう努めました。
- ・給食時にはテーブルにパーテーションを置き、飛沫予防に努めました。
- ・クローラ水を使用し、掃除やおもちゃの消毒を行いました。
- ・各保育室に加湿器と空気清浄機を設置し、集団感染の予防に努めました。
- ・玄関・保育室・ホールにアルコール手指消毒液を設置し、感染予防に努めました。
- ・各クラスに嘔吐処理セットを設置し、二次感染の防止に努めました。

<利用者>

保健行事	実施日	対象年齢
内科健診 (年2回)	9月2日・1月20日	全園児
歯科健診 (年2回)	5月27日・11月25日	全園児
視聴覚検査 (年1回)	1月13日	3歳児
尿検査 (年1回)	5月18日	4・5歳児
身体測定 (毎月1回)	毎月15日頃	全園児
爪検査 (週1回)	毎週月曜日	全園児

<職員>

採用前健診	採用時	新採用職員
定期健康診断 (年1回)	7月～8月	全職員
細菌検査 (月1回)	毎月	全職員
ノロウイルス検査 (月1回)	11月～3月	給食室
予防接種 (年1回)	10月～	全職員
健康チェック (毎月)	出勤時 (2月より検温実施)	全職員

7 栄養管理

月に1度、給食会議を行い喫食状況、献立内容、提供した食事の感想、反省、改善点等を栄養士・主任・クラス主任・園長が話し合い、よりおいしい給食の提供に取り組みました。

- ・栄養士・保育士が連携し、子どもたちに食品群や栄養バランスについてわかりやすく説明し、自分たちの体について関心が持てるような取り組みを行いました。
- ・食事摂取基準を活用し、薄味・和食中心の献立を取り入れ安全でおいしい給食の提供を行いました。
- ・主治医の指示書に基づき、アレルギー児（卵）への除去食の対応を行いました。
- ・予定献立表（離乳食・完了食・未満児食・幼児食・おやつ・アレルギー児食・補食・夕食）の配布。また、補食・夕食については、家庭的な雰囲気の中で、楽しく・美味しく食べることができるよう取り組みました。
- ・離乳食は、保護者の方と連携を取りながら、移行表を基に発達に合わせて進めていきました。
- ・日々の離乳食・給食・おやつ・補食・夕食を給食室前のサンプルケースに一人分の量を展示し、園での食事量をわかりやすく伝えていきました。



(卒園のお祝いクッキー)



(トトロのプリン)

<給食室衛生管理>

- ・衛生チェック票を作成し、日々衛生項目に沿っての確認作業を行いました。
- ・調理室、ワゴン、冷蔵庫等の消毒を行い衛生管理に努めました。
- ・食器類は洗浄後、熱風庫にて保管し衛生管理に努めました。
- ・検品として、原材料・調理済み食品は、14日間保存（15日目に破棄）を行いました。

8 施設の衛生管理

- ・年に2回（春・秋）、害虫駆除を実施しました。

9 安全管理

- ・毎月1回（火災・地震・不審者・洪水等）色々な時間帯を想定し、抜き打ちで避難訓練実施。職員も交代で水消火器を使用しての消火訓練を行う中で、消火器の使い方を学びました。
- ・年1回（9月の総合防災訓練時）保護者に引き渡すことを想定し職員同士で引き渡し訓練を行いました。
- ・遊具は、遊ぶ前に点検を行い、安全確認を行いました。
- ・月1回、保育室・園庭・園舎周りの安全点検を行い、危険個所の確認し、不具合箇所については修理を行いました。
- ・防災設備点検の実施（年2回）、4月の点検の際には都筑消防署に書類を届出しました。特に問題はありませんでした。
- ・危機管理や災害時の連絡ツールとして、IP無線機を使用し、園だけでなく、法人内の各園とも連絡を取れるよう設定し、総合防災訓練時に活用しました。日々の保育では散歩や園外保育で活用しています。
- ・非常食糧の備蓄（全園児+職員）×3食×（1日～3日）分を分散備蓄で確保しています。
- ・110番通報システムを導入し、何かあった時（不審者の侵入等）には防犯ブザーを押すことで直接警察に通報が行き、迅速に対応してもらえるようになっています。

10 特別保育事業の実施

<一時保育事業>

一時保育は、前年度から利用していたお子さんについては、4月より受け入れを行いました。

0・1歳児については年間を通して利用希望が多く、できる範囲で受け入れを行いました。

<地域活動推進事業>

*コロナウイルス感染症感染拡大防止についての横浜市からのガイドラインに従い、受け入れの体制を整えました。

*実習生・中高生の保育体験受け入れは可能としましたが、学校から今年度は学校から控えたいとの連絡を受け、実施しませんでした。

- * 世代間交流（都筑ハートフルステーション・横浜はつらつ・横浜ゆうゆう）は、直接訪問することはできませんでしたが、敬老の日に子どもたちが制作したプレゼントを職員が届けに行きました。
- * 郵便局に園児が作った制作を毎月飾っていただくとともに、クリスマスの際には郵便局長がサンタクロースとして園児にプレゼントを届けに来てくれるなど、地域との関わりを深めることができました。
- * 保護者の方が参加しているボランティアグループの方に来ていただき、演奏会を開催しました。
- * 園庭開放・育児相談を行いました。
- * 幼・保・小の連携では勝田小学校1年生や近隣保育園（やまた保育園・キッズフォレ）と交流を行いました。



(郵便局の飾り)



(ボランティアの方による演奏会)

<障害児保育事業>

障害児認定の子どもについては、加配の職員を配置し、支援が必要な子どもについては、関係機関・保護者の方と連携を取りながら、他の子どもたちとの生活を通して、共に成長できるよう、保育支援を行いました。

- ・春と秋の2回、北部療育センターと連携を図り、来園していただき、気になる子どもへの対応。

<延長保育事業>

- ・支給・認定区分に応じた保育時間内にお迎えに来られない場合に必要に応じて保育支援を行うとともに、夕方の延長に関しては補食・夕食の対応を行いました。

<体操指導・年20回> <太鼓指導・年12回>…3歳児～5歳児

<えいご・年24回>…2歳児～5歳児

- ・外部講師の指導については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止を踏まえ、講師の入室前の検温・手指消毒の実施、マスク着用での指導をお願いし、年間プログラムにそって幼児クラスが行いました。

1.1 保護者に向けて

コロナ禍ではありましたが、保護者に協力を求めながら、就労状況によって保育を行い、保護者支援に努めました。

- ・年間行事は通常通りの開催はできませんでしたが、状況を見ながら、その時にできることを考え、保護者の方に参加していただき、子どもたちの姿を見ていただきました。
- ・各クラスの日々の子どもたちの姿や菜園活動の様子等を伝えるために、園の入り口に写真で掲示するなど、「見える化」を行うことで、園全体の様子が伝わるよう努めてきました。
- ・ドキュメンテーションを取り入れ、日々のねらいや取り組みの様子を写真で保護者の方に伝え、コミュニケーションを広げてきました。

- ・重要事項説明書について、前年度からの変更点について、説明文とともに保護者に配布し、署名捺印をいただきました。また、新入園児は入園説明を個別に行う中で説明を行い、署名捺印をいただき、割り印押印したのち保護者と園で卒園まで保管します。
- ・緊急時防災メールや掲示板の利用登録を保護者、職員にお願いし、毎月の避難訓練後に訓練の様子をテストメールとして発信し、既読確認を行い伝達漏れがないよう努めました。
- ・保護者アンケートを実施し、保育の質の向上・行事の見直し等に向け、保護者の意見を反映させ、すぐにできるものは都度、見直しが必要なものについては次年度に取り入れられるよう対応してきました。
- ・懇談会・保育参観は、来園する方の人数制限や時間の割り振りを行いながら、お子さんたちの姿を見ていただく機会を設けました。
- ・年1回の個人面談では、園や家庭での様子を伝え、子どもたちに対して同じ視点で関わるができるよう共通理解を図りました。
- ・保護者へのお知らせについて、連絡ノート・連絡帳・連絡ボードを利用し、園での様子やご家庭での様子を共有しながら、保護者との信頼関係を築いていけるよう取り組みました。
- ・保護者の方の不安や、ご意見等についても職員間で共有し、内容によって担任・主任・副園長、園長が話し、早めの対応に心がけました。
- ・保護者の方の表情や態度、声のトーンなど、出来るだけ早くキャッチして、職員から声をかけコミュニケーションを取る中で、日常の保護者に対する支援に努めてきました。

<毎月1日発行>

園だより ・クラスだより ・保健だより ・給食だより

<月末に発行>

献立表(離乳食・完了食・未満児食・幼児食・アレルギー児食・おやつ・補食・夕食)

1 2 職員・園務

- ・就学する小学校と連絡を取り、子どもたちの様子を伝えて、安心して就学出来るよう、連携を図ってきました。
- ・職員の処遇改善等加算Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、職員処遇改善費は計画書の届け出を行い、職員対して賃金の改善を図るとともに、処遇改善等加算Ⅱについてはキャリアアップ研修への参加に努めました。
- ・育休 1名(5月復帰) 育児短時間勤務 3名

<その他>

- ・業務災害総合保険(AIG)引き続き加入し、職員の負担軽減に努めました。
- ・福祉医療機構退職金制度・横浜市勤労者福祉共済(はまフレンド)に加入し、福利厚生を強めてきました。

1 3 令和4年度研修内容

参加した研修については、会議で報告し、日々の保育の中に取り入れ活かしてきました。
キャリアアップ研修については、対象職員を中心に経験年数等を含め、研修を受講してきました。
また、一人一人の職員に対して、個々の目標・経験年数・園として求めるものを双方で確認し、全員が研修を受け、研鑽に努めました。

【令和4年度研修内容】

主 催	内 容	人 数
横浜市子ども青少年局	「探求心を育む遊び」研究会（年間）	1名
横浜市 幼保小教育交流事業	公開保育（中川西保育園）	1名
都筑区子育てネットワーク	子育て支援	2名
都筑区子ども家庭支援課	ドキュメンテーション	1名
	要録研修	1名
横浜市公立保育園	わらべ歌	1名
日本防災環境	防災について	1名
芸術と遊ぶボラ	簡単シアター	1名

【令和4年度キャリアアップ研修】

主 催	内 容	人 数
横浜市子ども青少年局	幼児保育	2名
横浜女子短期		1名
横浜女子短期	保育実践	1名
横浜市子ども青少年局	保護者支援	1名
神奈川県保育協会	乳児保育	1名
フットケアラボ	障害児保育	1名
横浜女子短期	中堅保育士研修	1名

【園主導園内研修】

主 催	内 容	人 数
日本赤十字社	救急法・幼児安全法	15名



令和4年度 千丸台保育園 事業報告

定員100名 (在籍 99名)

1 施設運営状況

今年度は、職員が十分な体制の中スタートする事が出来たため、子どもたちにはより丁寧な関わりを持つことができましたが、運営的には人件費の支出が多くありました。また個別支援を必要とする子どもたちへも、気持ちに寄り添いながらそれぞれのペースに合わせて生活し、統合保育への導きをする事ができました。

社会の動向と共に、保育園でも食材費・光熱費が昨年度よりも支出がありました。給食についてはメニューの工夫をし、献立内容を維持していけるよう努めました。

また光熱費については、横浜市の『新型コロナウイルス感染症拡大防止対策補助金』を活用し、自動水栓を導入し、節水に努めるなど節約できる取り組みをしました。



幼児クラスに設置した自動水栓

4・5歳児と幼児トイレに自動水栓を設置し、蛇口に触れずに手洗いができる為、衛生的な事と水を出したままにならず、節水につながるようにしました。衛生用品についてもアルコールやペーパータオルなど補助金の中で十分に購入ができ、感染症に対する予防にも園全体として取り組む事ができました。

園の体制としては、新たに副園長を配置し、人材育成・安定した保育運営ができるように心がけました。保育士の意見を聞き、連携を大切に風通しの良い人間関係が築けるよう働きやすい環境を作るよう努めました。

9月9日には『横浜市一般指導監査(施設)』が行われました。大きな指摘はありませんでしたが、安全面や各マニュアルの確認があり、新たに気付く点やより良い保育をすすめていくための改善に向けたアドバイスを得、すぐに修正し、安全な保育に努めました。

2 利用者支援状況

【月間在籍人数推移】 (各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	51	51	53	54	54	54	56	56	57	57	57	57	657	54.8
女児	41	41	40	42	42	42	42	42	41	42	42	42	499	41.6
計	92	92	93	96	96	96	98	98	98	99	99	99	1,156	96.3

【利用者状況推移】 (各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
令和元年度	11	15	18	18	17	18	97
令和2年度	11	15	17	17	20	17	97
令和3年度	11	15	18	17	17	21	99
令和4年度	11	15	18	18	17	20	99

4月1日は0歳児が11名中7名の入所となり、4名空いている状態でスタートとなりました。しかし7月には11名の在籍となり乳児クラスは空きのない状態になりました。

新型コロナウイルス感染症の影響で保育環境や保育の仕方をその都度考え、横浜市や保土ヶ谷区と連携を取りながら進めてきました。感染症対策の新たなガイドラインにより休園する事や濃厚接触者の特定が不要となったことで保育を継続する事はできましたが、子どもたちの体調・職員の体調管理には十分気を付けてきました。マスク着用に関しては厚生労働省の考え方に添い、ご家庭の希望で対応しました。

年度の後半は感染症も落ち着いている事から交流保育を行ったり異年齢での活動を取り入れたり昨年度よりも広がりのある保育をする事ができました。保育目標でもある『思いやりのあるたくましい子の育成』に向けて人との触れ合いが少しずつでもできるようになったことはうれしく感じました。

特に新井小学校との交流では地域に貢献できる『地域清掃』を一緒に行い、普段散歩に出かけている公園を中心に行いました。

行事に関して『運動会』では幼児3クラス合同に開催し、たくさんの保護者の方に子どもたちの成長を感じていただき、賑やかに行う事ができました。また夏には2年ぶりに園庭に大型プールを設置し、新型コロナウイルス感染症で制限のあったプール指導を再開する事ができました。子どもたちのはしゃぐ声が響き、楽しんでいる様子が伝わってきました。



プール遊び(幼児)



小学生との交流～地域清掃



やきいも会🍠



ハロウィン🎃



ポップコーン作り🍿

3 職員の状況

今年度も新卒者の採用をする事ができ、十分な保育体制でゆとりのある保育をする事ができました。職員同士が声を掛け合い、クラスに入り、職員一人ひとりが意識をしながら子どもたちを支えていく体制づくりを目指しました。子どもの人権を大切に保護者と共に成長を喜び合える気持ちで保育に臨みました。

- | | |
|-------------------|----------------|
| 7.7 七夕の会 | 12.23 クリスマス会 |
| 7.27 ねぎ苗植え | 1.12 お正月遊び |
| 7.29 チャレンジわくわく会 | 2.3 節分の会 |
| 8.10～15 夏期合同保育 | 3.1 じゃがいも種芋植え |
| 8.26 夏まつり | 3.3 ひな祭りの会 |
| 9.6 プール納め | 3.9 お別れ遠足 |
| 9.8 大根とブロッコリーの種植え | 3.16 卒園式 |
| 9.15 敬老の日の会 | 3.17 大きくなったねの会 |
| 10.8 運動会 | 3.20 人形劇 |
| 10.12 総合防災訓練 | 3.23 卒園遠足 |
| 10.21 園外保育 | 3.29 お花見会食 |
| 10.25 内科健診(2回目) | 3.31 進級式 |



『夏まつり』



チャレンジわくわく会「バスボム作り」

- *誕生会 毎月、月末に行う。
- *体操教室(幼児) 月2回第2・4金曜日…総合体育研究所神奈川 伊藤先生(外部講師)
- *リズム遊び(幼児)週1回…広いスペースで換気をしながら異年齢で行う(3～5歳)。
- *布団乾燥 2か月に1回(奇数月)の土曜日に行いました。
- *害虫駆除 年2回…9月24日(土)・3月25日(土)に行いました。
- *個人面談 希望する家庭のみ換気をしながらプレイルームで行いました。
- *懇談会については、コロナ禍の為、大勢で集まる事は控えました。書面にて行い、家庭に手紙を配布しました。

6 健康管理

今年度も子どもたちの健康・安全を一番に考え、看護師と協力して健康を管理に努めました。保健年間計画に沿って内科健診・歯科健診など行って子どもたちの健康管理をしました。また日々看護師が保育室を巡回し、子どもたちの体調管理をしました。夏には虫よけ対策(モスキートマグネット)をし、湿度・温度管理の徹底をしました。保健指導としては『手洗いの仕方』や『排泄セルフケア』の指導を行い、意識付けをする事ができました。



保健指導『手洗い指導』



『排泄セルフケア』

今年度は新型コロナウイルス感染症の対応が緩和される部分もあり、横浜市の通知を基に園の対応を考え、園だよりや保健だよりで保護者へお知らせをしました。

今年度、園児の健診・検査は下記の通りです。

- ・内科健診：年2回…5月24日(火)・10月25日(火)
- ・歯科健診：年2回…6月9日(木)・12月15日(木)
- ・視聴覚検査：対象3歳児…9月27日(火)～28日(水)
- ・尿検査：対象3・4・5歳児・年1回 1次回収6月23日(木)・2次回収6月27日(月)
- ・全園児対象に身体測定(月1回)、爪検査・頭髪検査を(毎週1回月曜日・頭じらみの予防)
- ・職員は定期診断(年1回)及び全職員の細菌検査(毎月)
- ・給食室職員は2回(6月～9月…食中毒流行の季節)(11月～3月…ノロウイルス検査をランダムで2名ずつ)を実施し、また毎日一人ひとりの『健康チェック表』に体温・手洗いの有無・体調を記入し、健康管理に努めました。体調が優れないときは早期に受診し、回復に努めました。

7 食事

安全でおいしい給食を1か月2サイクルメニューで栄養士が献立をたてています。クラスの友だちとの食事を楽しみ、苦手な食べ物も挑戦して完食する嬉しさを味わいました。新型コロナウイルス感染症の対策で友だちとの間隔を保って座ったりパーテーションを使用したり環境の工夫をしました。

* 離乳食は『チェック食材表』を基に保護者の方・担任と話しをしながら無理なくすすめました。

* 暦に合わせて、行事食を取り入れ食事の楽しさを伝えてきました。

* 「アレルギー疾患生活管理指導表」の提出に基づき、アレルギー食の対応をしてきました。

ダブルチェックをして提供間違いのないように職員同士声をかけ合いました。

* 保育時間に応じて補食(18:30以降の迎え)・夕食(19:00以降の迎え)の対応をしています。今年度もコロナ禍の為、補食中心で利用されていました。

* 当日の給食(離乳食・昼食・おやつ)を事務所園庭側のサンプルケースに掲示しています。



行事食 『ハロウィン🎃』



『クリスマスパフェ🎄』

8 衛生管理

- *新型コロナウイルス感染症の影響を受け、清掃・おもちゃの消毒に関してはマニュアル作成し、次亜塩素酸ナトリウムを使用しました。確実に除菌できるように丁寧に言い、園内を清潔に保つ事ができました。また職員は手洗いとアルコール消毒を心がけました。
- *各クラスに嘔吐処理セットを置き、感染が広がらないよう素早く対応できるようにしました。また全職員が処理を的確にできるよう園内研修を行いました。
- *日常の清掃に加え、年2回(8月・3月)に大掃除を行い、衛生的な環境を作るように努めました。
- *年2回 害虫駆除(9月・3月)

9 安全管理

- *防災訓練 : 毎月1回避難訓練(地震・火災・防犯・水害・土砂・停電)、消火訓練、スミスライト訓練、通報訓練を実施しました。災害時にも使用できるIP無線機もいざという時に使えるよう、散歩時には持参して普段から使い慣れるようにしています。
- *毎月『安全点検表』・『事故チェックリスト』を各クラスで確認し、安全な保育ができるように配慮しました。
- *防災設備点検を年2回(4月・10月)に実施し、年1回の4月には保土ヶ谷消防に書類の提出し、指摘等はありませんでした。

10 特別保育の実施

【地域交流】

<園庭開放>

- *地域の子育て家庭に保育園の園庭で遊ぶ『園庭開放』を毎週木曜日10:00~12:00の時間帯で行いました。コロナ禍で多くの利用はありませんでしたが、園見学などのお知らせをし『園庭開放』を知ってもらえるように努めました。

<地域清掃>

- *幼保小の交流保育の一環で今年度初めて『地域清掃』に参加しました。子どもたちが普段、散歩で利用している公園をきれいにする事で、意識も変わり地域に貢献できる良い活動だと感じました。今後、続けていきたい活動の一つです。

<郵便局へのポスター>

- *子育て世代の保護者の方へ保育園の園庭開放・一時保育・行事へのお誘いなどのお知らせや自然物を使った製作の紹介・公園の紹介・手作りおもちゃの紹介などの情報を発信する掲示物をしました。

<一時保育>

- *今年度は0歳児の利用が多くあり、年度の後半は日々予約が入っている状況でした。

<体操指導>

- *幼児クラスを対象に月2回、スキルアップスポーツクラブのインストラクターによる指導がありました。子どもたちは指導ごとに楽しみ、興味を持って参加していました。

11 保護者に向けて

- *新型コロナウイルス感染症に関することやお知らせ等、園メールを使用し、保護者の方へ確実に伝えられるように工夫しました。

また園便りやクラス便りで子どもたちの様子を伝え、乳児クラスは普段の保育の様子を動画で見ることができ『おうちえん』で配信をし、成長を感じられるように努めました。

*保護者が相談しやすい関係づくりに心がけ、送迎の際は保育士から保護者の方に声をかけるようにしました。

1 2 職員・園務

*横浜市一般指導監査を受け、市の担当者からは、さらに園が良くなるようにとのアドバイスがありました。今後、園として更に改善に努め、安全な環境設定や適切な保育ができるように努めていきたいと思えます。

*若手の職員を育成していくために、経験ある職員が相談にのったりアドバイスしたりしました。経験を積み重ね、一步一步成長していくことを見守りました。

1 3 令和4年度研修内容

月 日	内 容	主 催	人 数
4月25日・26日・28日	幼保小接続期研修〈スタートカリキュラム〉		2名
7月6日	5区合同研修『こども主体の保育とは』		1名
7月6日	食物アレルギー講習会		1名
7月26日	苦情解決研修会		1名
8月2・3日	発達障害等の基礎と対応		1名
8月22・25日	キャリアアップ研修〈マネジメント〉	県社協	1名
9月9日	防災研修 「保育・子育て支援の防災と災害後の心のケア」		1名
9月7日	防災研修「園児の未来のため大災害に備える」		1名
9月19・25日	キャリアアップ研修〈マネジメント〉		1名
10月18・25日	キャリアアップ研修〈幼児教育〉		1名
	衛生管理講習会		1名
11月17日	5区合同研修「接続期研修」		1名
12月18日	感染症対策セミナー		1名
1月20日	看護師職等研修		1名
2月2日	小児医療研修		1名

*副主任・専門リーダー・職務別分野リーダーは、自身の保育資質向上や指導者として人材育成をし

ていく立場からキャリアアップ研修を受講しています。

園内研修

1月4日	嘔吐処理研修		保育士
	ダイアップ研修		保育士
	リズム研修		保育士

※園内研修は、保育に活かせる実技をおこないました。



令和4年度 横浜みなとみらい保育園 事業報告

定員120人（在籍134人）



1 施設運営状況

開園15年目の節目の年でしたが、年度当初から新型コロナウイルス感染症の影響を受け、入園式翌日から原則休園という厳しい幕開けとなり、特に新入園児の保護者にとっては不安なスタートとなりました。

今年度の委託費収入に関しては、一時保育事業、延長保育事業収入はほぼ昨年同様であったものの、4月当初から年度末まで在園時の受け入れ数がほぼMAXで安定していたため、全体的には安定した収入を得ることができました。

また、支出に関しては、まず、支出の多くを占める人件費について、職員の途中退職や休職者もありましたが、職員の協力を得るなかで人件費の抑制に努めてきました。更に、経費節減の観点から、水道光熱費や食材費も高騰している中であっても、節電・節水や食材の変更、など工夫や不要不急な経費の見直しを進め健全な園運営に努めてきました。

2 利用者支援状況

今年度もコロナ禍の保育ということで、看護師中心に感染防止対策に努めながらの保育が続きました。子どものマスクが任意となり、濃厚接触者の特定もなくなるなど、新型コロナウイルス感染症への対応も変化し、園生活も「withコロナ」として新型コロナ感染症と上手に向き合いながら、安全・安心の運営に努めました。

各行事や保護者の参観・参加の行事も状況に合わせて最大限できる形で開催できるよう、職員と話し合ってきました。

＊動画配信の導入：運動会・生活発表会・卒園式

遠方の祖父母の方々にも子どもたちの姿を見ていただいたことで、少しですが子どもたちの成長を感じていただけたのではないかと思います。

＊配慮・援助を要する子どもたちに関しては中部・東部療育センターと民間の支援施設を併用する家庭も増え、園での様子を第三者の目で見えいただき家庭・保育園・支援施設で情報共有しながら、子どもたちの支援に努めてきました。

＊「古着でワクチンプロジェクト」に参加の呼びかけをし、3回送ることができました。15人分のワクチンに協力することができました。改めて子どもたちにもSDGsを意識できるように紙芝居を使って物を大切にすることや、自然環境保護を子どもに伝えるようにしました。

【月間利用状況】（各月月初人員）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	62	744	62.0
女児	72	73	72	72	72	72	72	72	72	72	72	73	866	72.2
計	134	135	134	134	134	134	134	134	134	134	134	135	1610	134.2

い、遊具下のゴムチップの張替えも行いました。



(更新した園庭遊具)

5 年間行事報告

月 日	行事名	月 日	行事名
4月1日	入園式	10月31日	わいわい仮装パーティー
4月22日	子どもの日を祝う会	※	保育参観週間（全クラス開催）
	誕生会（毎月）	11月7日	西区民祭り（園児参加は取りやめ）
	避難訓練（毎月）	11月9日	2歳児と遊ぼう会（地域交流保育）中止
	懇談会（各クラス）	12月10日	生活発表会（2～5歳児開催）
※	おはなし会（2歳児～5歳児（月1回））	※	0・1歳児は12/2に開催
※	体育指導（幼児 月2回）	12月16日	もちつき会
※	英語指導（2～5歳児 月1回）	12月23日	お楽しみ会
5月13日	春の園外保育（幼児）	〃	手洗い指導（3～5歳児）
5月18日	開園記念日（15周年）	1月10日	お正月遊びの会
5月27日	MM祭り	1月13日	繭玉団子作り（2～5歳児）
※	園児内科健診（年2回）	1月20日	5歳児懇談会
※	尿検査（3・4・5歳児）	※	おやつ試食会は中止
6月6日	プール開き	2月2日	打楽器コンサート
6月14日	歯科健診（全園児 年2回）	2月3日	節分会
※	保育参観・試食会（各クラス） 中止	2月7日	制作遊びの会
※	歯磨き指導（3～5歳児） 中止	中止	懇談会・おやつ試食会（0,2～4歳児）
6月24日	みんなでがんばろう会（5歳児）	2月17日	お別れ遠足（5歳児親子）
7月6日	七夕会	2月18日	入園説明会（新入園児）
8月31日	プール納め	3月1日	ひなまつり会（2クラスごと）
9月1日	総合防災訓練	3月7日	お別れ会
9月4日	平沼水天宮例大祭子ども神輿 中止	3月10日	幼児交通安全指導（3～5歳児）
9月16日	敬老の日を祝う会 中止	3月18日	卒園式（式典は縮小し、茶話会中止）
10月8日	第15回運動会（平沼小学校校庭）	3月31日	進級式
10月21日	幼児園外保育		

6 健康管理

- ・入園する際、看護師が作成した「健康と安全のためのお知らせ」と「子どもの睡眠が成長に与える影響」の冊子を配布し、保護者とともに健康管理ができるように努めました。

また、普段から登園時には手洗いの曲をホールに流して親子で手洗いをしてから保育室に入るなど感染症対策の意識づけは行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を受け看護師による「咳エチケット」や「手洗い指導」を行い更なる意識づけを行いました。

- ・園児（年2回）・職員（年1回）の定期健診及び全職員の細菌検査を毎月実施しました。
- ・給食職員にはノロウイルスの細菌検査を別途実施しました。（11月～3月）
- ・職員のインフルエンザ予防接種・新型コロナワクチン接種の実施
- ・看護師からのお知らせボードに感染症の状況等を掲示し、保護者への情報発信を行いました。
- ・健康管理には最善の注意を払い、感染症については保護者にも周知することで、拡散は防げた。

<産業医の選任>

- ・産業医を選任し、安全衛生委員会を毎月一回開催し職員の残業時間や年休取得率の確認や職場巡視を行い別の視点で安全な職場環境作りや改善に努めました。

7 栄養管理

給食目標 <おいしく たのしく げんきになろう>

- *子どもたちが健やかに育つために年齢（月齢）・成長に応じて、栄養士がたてた献立による完全給食の実施
- *3歳児以上の子どもたちへの主食の提供や、延長保育を利用する児には補食や夕食の提供
- *アレルギー児へは生活管理指導票に基づきの除去食の提供
また、アレルギー児を持つ保護者には誤食を防ぐためにダブルチェックとし、次月の献立会議後、献立表の確認及び確認印をいただくようにしました。
- *離乳食、給食、おやつ、補食、夕食は事務所前のサンプルケースに基準量で展示し、保護者にも伝わりやすいようにし、毎月の給食だよりには人気給食のレシピ掲載
- *毎月、郷土料理を取り入れ、由来やレシピも記載していきました。
- *補食・夕食に関しては除去食で献立を作成することで、アレルギー児の補食・夕食の希望が出ても対応できるようにしました。
- *離乳食に関しては園で使用する食材表を保護者と確認しながら個々の成長に合わせて進めていくようにしました。*節々の行事では行事食が提供され、子どもたちもとても喜んで食べています。また、今年度も給食やおやつの試食会はコロナ禍になり行うことができませんでしたが、子どもたちがより食に興味を持てるようにプランター栽培等を通して食育活動を続けました。



(行事食 こどもの日)



(行事食 誕生会)

8 衛生管理

- * 保育室
 - ・クローラ水やアルコールを使用し掃除や消毒に努めました。
 - ・各クラスに嘔吐処理セットを設置し二次感染の防止に努めました。
 - ・各クラスに除菌BOXを設置し玩具の消毒に努めました。

＊給食室

- ・衛生チェック表に基づき日々衛生・確認に努めました。
- ・食器洗浄後、熱風庫にて保管
- ・食材の原材料・調理済み食品の保管（2週間）

＊施設

- ・年間2回の害虫駆除（6月・12月）を行いました。

9 安全管理

- ・交通安全教室を行ない関係機関と連携を取ることが出来た。また、普段のお散歩（園外保育）の際にも交通ルールの確認を行うことで子どもたちにも意識できるようにしました。
- ・防犯訓練、毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施し、西消防署の方に実際の訓練を見ていただき改善点やアドバイスをいただくことで職員も訓練の内容等を確認することができた。
- ・消防計画や避難確保計画（洪水）の作成及び備蓄品の確保・保管場所や備蓄品の内容を全職員が把握できるよう努めました。
- ・安全チェックシートに基づき、各保育室・園庭・ホール・等の安全確認を月に1度確認を行いました。
- ・自主点検表に基づき日々安全確認を行いました。
- ・災害時の際、より確実に連絡体制が取れるようIP無線を普段の園外保育の際にも携帯し、各職員が使用できるように努めました。
- ・災害時に通常のミルクを提供できないことを想定し液体ミルクを常備し、0歳児クラスで入園される家庭には入園前の説明会に試食品を各家庭に配布し入園前に試していただくようお願いしています。
- ・日々の園外保育では安全な散歩ルートを乳児用・幼児用で作成し、その基本ルートを外れる際は連絡を入れる、ポイントごとでの人数確認をしっかりと行う。

10 特別保育事業の実施

＜一時保育事業＞

年度	延べ利用 児童数（人）	助成額（円）
令和元年度	2,309	12,472,160
令和2年度	1,222	6,876,180
令和3年度	1,734	9,122,840
令和4年度	1,731	9,211,020

（一時保育利用状況推移）

＜地域子育て支援事業＞

- ＊園庭開放：月～金 10：30～15：00（夏季は水遊びも可）
- ＊貸し出し図書：月～木
- ＊育児相談：月～金 10：30～15：00
- ＊西区第5地区の園長たちで地域の方の「リモート子育て相談」をzoomで開催しました。

＜障がい児保育事業＞

- ＊障害児認定のこどもについては、加配の職員を配置し、支援が必要な子どもに関しては関係機関・

保護者の方と連携をとりながら、他の子どもたちとの生活を通して、ともにできるよう保育支援を行いました。

<療育相談・巡回相談>

* 中部療育センターと連携を図り、来園していただき、気になる子どもへの対応について理解を深めるとともに、全職員で同じ対応ができるように内容を共有した。

<延長保育事業>

* 認定区分に応じた保育時間を外れる場合、必要に応じて保育支援を行いました。夕方の延長に関しては補食・夕食の対応を行いました。

<産休明け保育>

* 生後 57 日からの受け入れを行い、入園後園医による産開け児健診も行いました。

<外部講師による支援事業>

* 体育指導：3～5 歳児 年間 20 回

* 英語指導：2～5 歳児 月 1 回

* 習字指導：5 歳児 月 1 回

* 読み聞かせ：2～5 歳児 月 1 回

<その他>

* 実習生・ボランティア保育体験の受け入れについて

・ 専門校受入校（4 校）実習実日数（10 日）実人員 2 名

・ 短期大学（1 校）実習実日数（10 日）実人員 2 名

・ 専門校受け入れ（1 校）見学実習（3 日）実人数 2 名

・ 専門校受け入れ（1 校）見学実習（1 日）実人数 10 名

* 幼・保・小連携事業

平沼小学校の1年生と Zoom 交流や学校探検、みなとみらい本町小学校の2年生が学校紹介の DVD を作成してくださり、年長児が就学に対して期待を持つことができました。

1 1 保護者に向けて

- ・ 園だよりや保健だより、給食だより、クラスだより、献立表等各種おたよりの配布。
- ・ 育児講座の開催（今年度は「しめ縄体験」を行い、お正月飾りを作りました。）
- ・ 各種行事へのお誘い
- ・ ホームページや掲示板の開設
- ・ 保護者アンケートを実施し、利用者の要望を把握
- ・ 中央図書館のご協力のもと貸出図書の実施
- ・ 新入園に向けての入園説明会の実施
- ・ 懇談会の開催や保育参観、保育参観週間を設け、保育を観ていただく機会を多く設けた。



1 2 職員・園務

- ・ 有志職員が地域消防団に加入し、自園の防災力を高めることはもちろん、地域の防災力を高めること、地域の方との結びつきに努めました。
- ・ 地域出前講座への参加

- ・ 幼保小交流を通して、子どもの育ちの連続性のために、大人の顔が見える関係作りにも努めました。
- ・ 自治会への参加
- ・ 西区園長会・子育て支援会議に参加し、情報共有や地域連携に努めました。
- ・ 西区の子育て支援施設の共通目標である「にこやかに目をかけ手をかけ心かけ」の標語や子育てのヒントの冊子を未就園児の保護者へ配布しました。
- ・ 西区社会福祉協議会主催の児童分科会に参加し、情報共有や地域連携に努めました。
- ・ 職員の研修はキャリアアップ研修中心でしたが、コロナ禍で人数制限もあり、思うように研修に参加できない状況でしたが、参加者が研修で得た知識は園内で伝え合い、園全体の資質の向上に努めました。

また、今年は保育者に関わる不適切な保育に関するニュースも多く、それを他人事とはとらえず注意喚起だけではなく、職員アンケートから自園の課題を把握し、職員と共に改善に努めました。そして、必要に応じてセルフチェックやチェックリストを行うことで、職員一人ひとりに問題を投げかけ、一緒に考えていくことで、保育の質の向上・維持に努めました。

保護者の方には、保護者アンケートの結果から課題を見つけ保育の質の改善につなげるように努めました。

令和4年度 研修実施記録		
主 催	内 容	人 数
一般社団法人 家庭まち創り産学官協創ラボ	神奈川県エキスパート研修 乳児保育	1名
一般社団法人 家庭まち創り産学官協創ラボ	神奈川県エキスパート研修 幼児保育	1名
一般社団法人 家庭まち創り産学官協創ラボ	神奈川県エキスパート研修 食育・アレルギー	1名
横浜市こども青少年局	乳幼児保育研修	1名
横浜市こども青少年局	アレルギー疾患について	1名
横浜市こども青少年局	初級 幼児教育研修	2名
横浜市こども青少年局	食品衛生管理者実務講習会	1名
西区幼保小 教育交流事業実行委員会	幼保小教育交流事業 担当者会議（年2回）	2名
西区	実践交流研修（全5回）	1名
5区子ども家庭支援課 西区・保土ヶ谷区・泉 区・瀬谷区・旭区	こども主体の保育とは	3名
一般社団法人横浜市 私立保育園こども園園長会	人権研修「乳幼児の性と保育 ～こどものからた観を豊かに育む～」	1名
横浜みなとみらい保育園・ 西消防署・西消防団	CPR研修	全職員
横浜みなとみらい保育園・ 西消防署・西消防団	CPR研修（応用編）	全職員

1 3 その他

- ・ 横浜市の一般指導監査を令和4年9月9日に受審。
- 0・1歳児のブレスチェックについて一部の時間帯の記録がなかったため、今後は乳幼児突然死症候群用の事故防止の観点からしっかり行うようにしたい。



令和4年度 玉川保育園 事業報告

玉川保育園 定員135名 (在籍 135名)

1 施設運営状況

運営状況は人件費増、水道光熱費の高騰やコロナ過で在宅勤務が普及し延長利用者減となり運営が厳しい年でした。設備関係も10年が過ぎ、雨水貯水槽のポンプが故障等交換修繕が必要となりました。

コロナ過でしたが行事は感染予防対策をしながらの実施をしたが3～5歳児のバス遠足は親子遠足に変更をして、夢見ヶ崎動物公園に行き、担任・親子でゲーム等交流を深めた遠足を実施した。新型コロナウイルス感染拡大による休園は5月26日から5月31日まで3歳児一部休園、12月8日から12月14日まで8時半から18時まで開所時間を短縮して開園対応する。職員感染が広がり体制が厳しい日も多く、事務所職員も応援体制をとりながら対応した。年長児の卒園遠足をバス遠足に変更し、葛西臨海園に行き卒園児は楽しい思い出の一つになりました。

5歳児の年間を通したSDGsの取りくみの実施でペットボトルの蓋回収ロボットを作成し、園全体で回収し11,160個の蓋がワクチン7人分になりました。



<ペットボトル回収ロボット>

2 利用者支援状況

【月間利用状況】 (各月月初人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	77	77	77	77	78	79	79	79	79	79	79	79	939	78.2
女児	56	56	56	56	56	57	57	57	57	56	56	56	676	56.3
計	133	133	133	133	134	136	136	136	136	135	135	135	1615	134.5

入所状況については4月当初から2歳・4歳に欠員があり中原区児童家庭課と利用調整をしてきましたが4月・5月の待機児童がいなく、7月に1歳児の待機児童があり、利用調整会議にかけてもらいました。8月に2歳児・4歳児の利用希望があり2名の入所が決定し在籍が136名になりましたが12月末で3歳児が転居、135名の在籍児童となりました。

【利用者状況推移】 (各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
令和元年度	9	23	25	26	25	26	134
令和2年度	9	23	25	26	26	26	135
令和3年度	9	23	25	25	26	26	134
令和4年度	9	24	25	25	26	26	135

3 職員の状況

令和4年度の職員状況は正規職員配置の充足ができず、年度途中で産休に入った職員の対応等で勤務体制が厳しくなり、事務所職員も体制に入り対応してきました。

職名	令和4年4月1日の職員数					年間退任・就任										令和5年4月1日の職員数 (常勤換算は3月分)							
	正規職員	有期契約職員			計	正規職員		有期契約職員						正規職員	有期契約職員				実人員合計	常勤換算			
		契約職員	非常勤A	非常勤B		就任	退任	契約職員		非常勤A		非常勤B			就任計	退任計	契約職員	非常勤A			非常勤B	常勤換算	
								就任	退任	就任	退任	就任	退任										
園長	1				1																1	1	
保育士	20	1	2	5	28	1			1	1					2	1	22		3	5	6.2	30	31.2
看護師	1				1												1					1	1
栄養士	4			1	5	1	2							1	2	3				1	0.5	4	3.5
調理員	1			1	2											1				1	0.5	2	1.5
事務員	1				1											1						1	1
保育補助				2	2							1		1					1	2	1.6	3	2.6
用務			1	1	2															2	1	2	1.0
嘱託医				2	2															2		2	
計	28	1	3	10	42	2	2	0	1	1	0	1	0	4	3	29	0	4	11	9.8	44	42.8	

* 臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

4 施設整備状況

<修繕箇所>

- ・ 厨房ハンガー引戸修繕工事
- ・ 雨水貯留槽水中ポンプ交換工事
- ・ 消火器・誘導灯・火災通報装置更新整備工事
- ・ 1階遊戯室・1階トイレ洗面手洗い改修工事
- ・ 1階幼児トイレ改修工事
- ・ 厨房自動水栓電池交換工事
- ・ 食器洗浄機修理

<大規模修繕>

玉川保育園大規模修繕については、8月25日に川崎市保育所整備課へ必要書類を提出してきました。その結果、川崎市より屋上防水工事を含めた事業計画書の受理を得たことから、玉川保育園として、改修事業実施の意向を示すとともに、「認可保育所大規模修繕事業に関する事前協議書」を提出し、民間保育所大規模修繕の手続きに基づき、着工に向けて川崎市こども未来局保育所整備課、(株)白川設計と対応を進めてきました。

今後、令和5年6月に工事業者を確定し、10月より修繕工事に取り掛かり令和6年2月末竣工となります。修繕期間は足場を組んでの大規模な工事になることから、園児・利用者の安心安全を第一優先に準備を進めていきます。

5 年間行事報告

4月12日	はじめまして集会	11月11日	移動動物園
4月16日	保育説明会・保護者会総会	11月21日	玉川小学校2年生 職業インタビュー
4月28日	子どもの日集会・お花見会食	12月10日	チャイルドフェスティバル
5月14日	懇談会・試食会	12月16日	かなりや組チャイルドフェスティバル
5月20日	5歳児太鼓指導	12月20日	おもちつき
5月27日	4・5歳児歩き遠足	12月22日	人形劇ひとみ座
6月1日	プール前健診	12月23日	クリスマスバイキング
6月15日	歯科健診	1月6日	お正月遊びの会
6月28日	5歳児太鼓指導	1月14日	5歳児懇談会
6月30日	水遊び開き	1月10日	おひさまひろば
7月7日	七夕集会	1月19日	平間中学校職業体験
7月12日	5歳児太鼓指導	1月22日	5歳児お別れ遠足（葛西臨海園）
7月23日	なつまつり	1月24日	バルーンショー
8月26日	つばめ組ナイトフェスティバル	1月26日	交通安全教室
8月31日	プール納め	1月30日	4歳児太鼓指導
9月1日	総合防災訓練・引き取り訓練	2月7日	おひさまひろば
9月3日	ひまわり会バザー（中止）	2月18日	0~4歳児懇談会 一時保育・保育説明会
9月16日	敬老の日の集い	2月22日	4歳児太鼓指導
9月20日	玉川中学校体験学習	3月3日	ひなまつり会
10月8日	第11回運動会	3月7日	おひさまひろば
10月21日	親子遠足（夢見ヶ崎動物公園）	3月11日	第11回卒園式
11月5日	親子で遊ぼう会	3月14日	中丸子保育園年長交流
11月6日	歯科検診	3月30日	お別れ会・進級式

☆体操教室 月 2回

☆おはなし会 年10回

☆太鼓指導 年 6回

☆おひさまひろば、年長交流会の再開

6 健康管理

○入所時、新年度は予防接種歴、感染症罹患歴、乳幼児健診受診状況と結果、体質やアレルギーの有無等の健康調査を行い、健康面における園生活での配慮事項を家庭と園で連携し対応しました。

○全園児、独立行政法人日本スポーツセンターの災害共済給制度に保護者の同意を確認し、加入手続きをしました。

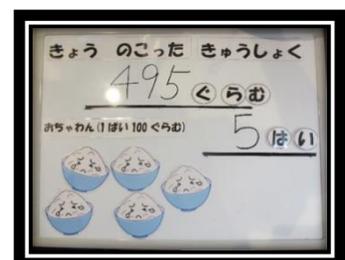
○園医による定期健康診断を0～1歳児クラスは2か月に1回、2歳児以上のクラスは年2回実施し

ました。

- 園医による年1回の歯科検診を実施しました。
- 予防接種については、川崎市から保護者宛ての「予防接種のすすめ」という配布文書とともに重要性について、入園説明会や保育説明会、懇談会、ほけんだよりを通して啓発しました。
- 月1回ほけんだよりを発行、6月と11月は臨時号として季節の健康情報を発信しました。
- 除去食・与薬等の対応が必要な園児において、川崎市保育所入所児童等健康管理委員会への申請を必要時と定期（6か月ごと）に実施しました。
- 月1回身体測定を行い、身長体重曲線を参考に評価し、バランスにおいて逸脱がみられる場合は園医や栄養士と連携して指導しました。
- 保育園サーベイランスシステムを活用し、感染症発生状況を早期に探知・共有し、対策を講じることで子ども達の健康被害の発生を最小限にすることに努めました。
- 感染症の流行や集団発生時には、直ちに川崎市保育課、中原区保育子育て総合支援センターおよび衛生課、園医と連携し、感染症拡大・蔓延防止に努めました。
- 流行性疾患発生時は個人情報に配慮しながら、発生とその状況をすみやかに保護者に周知しました。
- 毎週月曜日に頭髪検査、爪のチェックを行い、アタマジラミの早期発見と対応、ひっかき等による怪我防止に努めました。
- 夏季は暑さ指数や光化学スモック注意報の発令状況を参考に、紫外線対策、熱中症対策について指導を行いました。
- 保育の中での、急な体調変化については家庭と連携をとり対応しました。また、怪我等については園での応急手当をし、必要な場合は医療機関を受診して対応しました。医療機関を受診した場合は、川崎市保育課に速やかに事故発生報告書を提出しました。
- 年間計画に沿って保健指導を実施しました。
- 保護者からの健康相談について随時対応しました。
- 地域子育て支援事業の「おひさまひろば」を1月より再開し、身体測定や健康相談を実施しました。
- 入園前健診を園医と連携し、実施しました。
- 継続的によりよい保健活動への改善につなげるため、年間保健計画の書式に評価欄を作成し、取り組むようにしました。
- 全職員年1回の定期健康診断を受診しました。
- がん検診、婦人科検診、骨密度検査等の普及啓発を行い、職員の健康保持増進に努めました。
- 職員の予防接種状況や既往の確認、希望に応じて健康相談を実施しました。
- 関係機関からの指示のもと、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努めました。

7 栄養管理

- 「食育計画」をもとに、栄養士・看護師・保育士が連携を図り食育活動を実施しました。
- 「献立年間計画」をもとに、アレルギーフリーの献立作成を実施しました。
- 年2回の給与栄養量の見直し作成をしました。
- 災害時非常食の見直しを実施しました。
- 0歳児クラス離乳食ノートを活用し保護者との連携に努めました。
- 大量調理マニュアル・HACCPに沿った衛生管理を実施しました。
- おうちえん動画を活用し食育活動の様子を配信しました。



○SDGSの取り組みとして給食の残食計量を行い園児に食物に対する感謝を育む活動を実施しました。
《新型コロナウイルス感染症対策に関する取り組み》

厚生労働省・神奈川県・川崎市の指示のもと新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応に努めました。

①給食時に実施

- ・給食当番活動の中止、配膳業務は給食室で行う。
- ・食事前後は0.05%の次亜塩素酸ナトリウムでテーブルを拭く。
- ・職員は園児と一緒に食事をしない。



(米の食育キット)

②食育・クッキング活動

- ・換気が良く広い場所で実施しました。
- ・動画での食育活動の実施をしました。
- ・年長児クラスで給食の米を研ぐお手伝い、米研ぎ週間を実施しました。
- ・最終調理加熱を給食室で行うことが出来るクッキング活動を実施しました。

(梅シロップ作り、そら豆・とうもろこしの皮むき・カレー作り・菜園の収穫・米の栽培)

○栄養士・調理師による年間を通した食事指導を実施しました。

○「食育計画」「食事の発達と指導ポイント」を基に、栄養士・看護師・保育士が連携を図り食育活動を実施しました。

○「献立年間計画」を基に、アレルギーフリーの献立作成を実施しました。

○災害時非常食の見直しを実施しました。

○0歳児クラス・一時保育の粉ミルクの受払い簿の作成、管理に努めました。

○0歳児クラス離乳食ノートを活用し保護者との連携に努めました。

○HACCPに沿った衛生管理を実施しました。



8 衛生管理

○施設の衛生管理についての点検・整備・害虫駆除を実施しました。

○年1回の布団乾燥を実施しました。

○玄関、各保育室入口にアルコール手指消毒を設置し、手指衛生の徹底に努めました。

○日常的に整理、整頓、清掃、環境整備を徹底し、健康管理マニュアルに沿った適切な消毒を行い、二次感染の防止に努めました。

○保育室は温度計、湿度計で室内環境をチェックし、空調の調整、換気と通風を保つなどの管理をしました。

○各保育室に空気清浄機、加湿器を設置し、望ましい環境が保持できるように努めました。

○全職員毎月腸内細菌検査を実施しました。

○給食室職員は細菌による食中毒が増加する6～9月は月2回腸内細菌検査を実施し、ノロウイルスによる食中毒が増加する11～3月は月1回2名の職員を抽出し、ノロウイルス検査を実施しました。

9 安全管理

- 防災訓練 毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施しました。
- かながわシェイクアウト（一斉防災行動訓練）参加を実施しました。
- 園舎・園庭の月1回の安全点検を実施しました。
- 交通安全教室は地域保育園との合同で実施しました。
- 水の事故予防の為、プール時監視員の設置をして安全を確保して実施しました。
- SIDS予防のため、午睡時タイマーによる午睡チェックを実施しました。
- IP無線機を使用した大規模災害時の本部への連絡や園外保育・避難訓練の連絡、安全確認等を実施しました。
- 月1回の事故チェックリストでの危険事項の確認・ヒヤリハットを書き出し職員全体で周知しました。年度末には事故の分析表を作成して、事故の起こりやすい年齢、場所、時間、受傷部位等次年度の事故防止意識を職員で周知徹底しました。

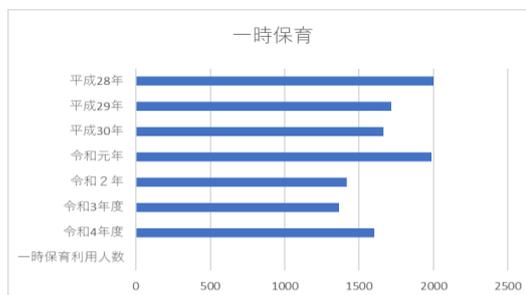
<令和4年度事報告集計について>

- ・ 年齢別…5歳児が顔から上の怪我が多くありました。
※5歳児は配慮児が多く、個別対応に苦慮しました。
- ・ 場所別…1. 保育室 2. 園庭・中庭
※園児の活動する場所の怪我が多かった。
- ・ 時間帯…8:30～11:59までが多かった。
※園児が活動する時間が多かった。
- ・ 受診診療科…歯科が8名
※乳児は運動機能が未発達なこともあり、転倒時に手が着けず歯科受診となるケースが多かった。
- ・ 月別事故件数…6月に次ぎ9月、10月、11月に多くありました。
※保育園に慣れた6月が多かった。

10 特別保育事業の実施

<一時保育事業>

- ・ 年間を通して緊急一時・非定利用で延べ人数1,604人の利用がありました。
令和4年度は新型コロナ禍でしたが利用者の安定した利用があり、1500人以上2100人未満の基本補助額は確定になり利用料も昨年より増加しました。
一時保育の利用者は非定型契約のお子さんは幼稚園に就学前のお子さんで保育所の入所基準に満たない就労をしている保護者の方で占めています。
緊急でお預かりするお子さんは地域でお産や家族の入院、中原区児童家庭課地域担当保健師さんからの依頼で子育てに問題を抱えている家庭の方をお預かりして地域の子育て支援として協力をしています。



<地域活動事業>

- ・ コロナ禍でZOOMでの子育て相談を実施。
- ・ 1月からおひさまひろばを再開。沢山の利用者がいました。
- ・ ゆうらくの高年齢者との交流。和太鼓演奏や運動会の動画をとり施設で放映してもらい交流を深め

ました。

- ・園庭開放、貸し出し図書

<障害児保育事業>

- ・3歳児軽度2名、5歳児軽度2名の受け入れを実施。関係機関、家庭と連携をとりながら個別の指導計画を立て保育を進めました。

<家庭的保育事業>

- ・コロナ禍でしたが家庭的保育室やまんちの連携保育園として、給食の提供・交流保育・合同内科健診・歯科検診・代替を実施しました。
保育・卒園児の優先受け入れを行いました。

<その他>

- ・横浜高等教育専門学校実習生1名の受け入れをしました。
- ・横浜創英大学子ども教育学部実習生1名の受け入れをしました。
- ・和光大学子ども教育学部実習生1名の受け入れをしました。
- ・玉川小学校町探検小学生5名の受け入れをしました。

1 1 保護者に向けて

- ・園たより・ほけんたより・給食たより・クラスたよりの発行
- ・保育参加・保育参観の実施をしました。
- ・年度末の保護者アンケートの実施。保護者の意見・要望等、職員と日々の保育を振り返り次年度の保育への課題やより良い保育の実施へ活かすため職員と周知徹底ができました。
- ・園の緊急メールで新型コロナウイルス感染症のお知らせを配信し、保護者への注意喚起や周知の徹底をしました。
- ・おうちえん動画を活用し、保育の園児の様子やクラスの様子を配信することができました。
- ・コロナ感染症拡大防止の対応をしながら、保護者会共催行事や園行事も実施の形は違いますが、円滑に実施することができました。
- ・保護者会に遊具の寄付を頂きました。令和5年度も保護者会との連携と共通理解を深め、協力しながら、より良い保育環境を作ることを目的とした協力体制の構築を図りました。



(ファームロード)



(アーチ)

1 2 職員・園務

目標：風通しの良い職場環境づくり

職員同士が悩みを話し合える職場環境づくり

<昨年の課題>

- ①コミュニケーション不足

②新人・職員育成

③組織体制作り

<令和4年度の取り組み>

①毎日、10分間ミーティングを実施しています。

②新人職員の育成について再検討し、担当者が日々の振り返りの時間を多く持ち、丁寧に関わり安心して職務につけるよう改善しました。

③人権擁護のセルフチェックを実施しました。また、結果を集計し職員にフィードバックしました。

④「自分を大切に作る心の育ちへの取り組みをし、プライベートゾーンの意識付け・伝え方・配慮等への学び」の保育の中で継続的に実施しました。

⑤「不適切な保育を未然に防ぐために」のツールを活用し、グループワークを実施しました。

<次年度への課題>

①人員減の中、保育に入りながら新人育成の時間構成に苦慮した。

・主任・乳幼児主任を担当とし、時間を工夫する中で、新採用職員への育成強化を図る。

<次年度に向けての改善事項>

①職員の資質向上に向けて

・園内・園外研修計画の実施

・専門・分野別リーダーは、受講後実践に結びついていない事の課題を保育実践に沿った研修やミーティング等を実施することで資質向上につなげていく。

<改善策>

○職員の育成強化を図る

自己観察、園内・園外研修計画の実施や専門・分野別リーダーが実際の保育の中での課題を保育実践に沿った研修やミーティングに繋げて行けるかを検討し、次年度への改善につなげるための検討会の設置。

○人権擁護・不適切な保育を未然に防ぐために

園全体で全国保育士会「人権擁護のセルフチェック」を活用し、「子どもの人権擁護」の視点から自らの保育の振り返りや川崎市～保育のポイント集「不適切な保育を未然に防ぐために」などのツールを活用し、全職員で保育の振り返りとワークショップを実施しました。次年度への課題を含め人権研修など力を入れて行きたいと思えます。

【研修実績】

主催	研修名	
・川崎市こども未来局保育事業部 ・白峰学園「横浜女子短期大学 保育センター ・一般財団法人家庭まち創り産 管 協創ラボ	キャリアアップ研修	
	・乳児保育	3名
	・マネジメント	1名
	・障害保育	3名
	・保護者支援	2名
	・保健・安全衛生	1名
	・主任研修	1名
	・食物アレルギー	2名

・一般財団川崎市保育士会		
中原区	<ul style="list-style-type: none"> ・認可保育園園長・認定子ども園長連絡会運営 委員会 ・認可保育園園長・認定子ども園長連絡会 ・中原区保育施設長連絡会 ・園長・校長連絡会 ・主任保育士連絡会 ・年長児担当者連絡会 ・保健担当者連絡会 ・地域子育て支援担当連絡会 ・幼保小担当者連絡会 ・給食担当者連絡会 ・中原区発達相談支援担当者連絡会 ・「食べるために欠かせない口腔内への理解」 	<ul style="list-style-type: none"> 1名
川崎市こども未来局保育事業部	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児期の子どもの人権とは ・玉川・丸子地区「発達相談支援エリア別集い」 ・保育理念「今、本当に育てたいこと」 ・保護者の気持ちに寄り添うとは ・安全管理「園の深刻事故予防と事故対応」 ・乳児の発達に即した子どもの理解について ・「食品衛生と衛生管理について」 ・食品に関するガイドライン ・「食物アレルギーの基礎知識」 	<ul style="list-style-type: none"> 1名 1名 1名 3名 2名 1名 1名 3名 1名 2名
厚生労働省	初任保育所長研修	1名

13 その他

<令和4年度民間民営指導監査について>

令和4年10月25日（火） 午前9時00分～午後17時00分

川崎市こども未来局総務部指導監査による実地指導監査の予定でしたが急遽書面監査に変更になりました。

○文書指示事項：特記事項なし

○口頭指示事項：特記事項なし



新井小学校放課後キッズクラブ 令和4年度 事業報告

1 活動場所

- ・キッズクラブ教室専用室及び図工室

※その他学校に支障のない範囲で体育館、校庭等を使用しました。

2 開設時間

- ・月・火・木・金 14:30～19:00
- ・水 13:30～19:00
- ・土 学校休業日 8:30～19:00
- ・長期休業日 8:00～19:00

3 一斉下校時間

- ・3月～9月 17:00
- ・10月～11月・2月 16:30
- ・12月～1月 16:00

4 開設日数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
25 (5)	23 (4)	26 (4)	25 (5)	26 (4)	24 (4)	293日 (50日)
10月	11月	12月	1月	2月	3月	
25 (5)	24 (4)	24 (4)	23 (4)	22 (3)	26 (4)	

- ・昨年と同じ日数開設しました。()内は土曜開設日数で、昨年より2日少ない開設でした。

5 在校生児童数、登録数、登録率

区分2 定員：103人

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
令和2年度在籍数(人)	29(1)	48(0)	53(5)	58(4)	57(2)	64(2)	309(14)
令和3年度在籍数(人)	39(2)	30(1)	48(1)	53(3)	57(0)	56(2)	283(9)
令和4年度在籍数(人)	35(2)	34(2)	29(2)	49(1)	50(5)	58(0)	255(12)
令和2年度登録数(人)	29(1)	31(0)	30(5)	21(0)	12(0)	14(2)	137(8)
令和3年度登録数(人)	31(3)	24(1)	24(0)	17(0)	14(0)	4(0)	114(4)
令和4年度登録数(人)	34(3)	29(5)	21(0)	19(0)	11(1)	8(0)	122(9)
令和2年度登録率(%)	100.0	64.6	56.6	36.2	21.1	21.9	44.3
令和3年度登録率(%)	79.4	80.0	50.0	32.0	24.5	7.1	45.5
令和4年度登録率(%)	97.1	85.2	72.4	38.7	22.0	13.7	47.8

利用延べ児童数：9463人(内個別：810人)

()内は個別児童数※キッズクラブ特別な配慮児童含む

令和4年3月31日現在

- ・一昨年より、新型コロナウイルス感染拡大防止措置に伴う区分1登録児童の限定受け入れ(週2回まで、1回1時間から1時間半)を実施しており、特に活動が制限される高学年の区分1児童の参加はほぼない状態です。
- ・新入生の人数が毎年減少し続けているうえ、卒業生の数が新入生に比べ多いので、令和4年度は

在籍児童数が昨年に比べ28名少ないスタートでしたが、昨年に比べ登録児童数が増え、キッズクラブを利用している児童は、増加しました。

6 職員

(1)

令和4年3月31日時点

職種	勤務時間
主任（常勤） 1名	10：00～19：00（8時間）
副主任（常勤） 1名	14：00～19：00（5時間）
非常勤職員 12名	平日5時間勤務 週1日～5日 土曜・休業日 4時間～10時間勤務

- ・平日は8名体制をとり、土曜日や長期休業中は午前と午後を4～5名体制で出勤しました。

(2) 健康管理

- ・新型コロナウイルス対策で、職員は毎日の体調管理を「チェック表」に残しました。
- ・非常勤職員が胸部レントゲンを受診しました。
- ・細菌検査（検便）を毎月、職員が提出しました。
- ・感染症予防の為、インフルエンザ注射を受けてもらいました。

(3) 職員会議

- ・可能な限り毎月1回、職員会議を行い、職員間での情報共有と学校（児童専任）にも出席して頂き児童の情報交換を行いました。

7 主なプログラム（プログラム）

月	主な活動・出来事	イベント	遅帰りクラブ活動	会議等
4	一斉下校17：00 12日よりわくわく区分 受け入れ可能	わたがし作り体験 アイロンビーズ 新入生歓迎会 リアル桃太郎電鉄 宝探し キーホルダー作り 入浴剤作り スマブラ王座決定戦	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	春休み6日まで 入学式(4/7) 企画会・職員会議
5	一斉下校17：00	キッズシアター バルーンアート マイ水筒作り お出かけ防災教室 YOUTUBERになろう うちわ作り ミサガ作り スマブラ王座決定戦 紙漉体験 マイクラ建設王 巨大迷路 メモ作り	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	企画会議・職員会議 (以降8月を除き月1 回開催)

6	一斉下校17:00	スライム作り 鉄砲作り 忍者に弟子入り マジック体験 毛玉ぬいぐるみ作り セコム安全教室 流しそうめん スマブラ王座決定戦 コンクリート植木鉢作り 集めるどうぶつの森 消しゴム作り	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	参加型イベントにて保護者会開催
7	一斉下校17:00	七夕飾り レッツブレイドドッジボール アイロンビーズ スマブラ王座決定戦 シャボン玉遊び 虫取り大会 リアルフォートナイト	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	夏季休業7/25~8/28
8	一斉下校17:00	マリオカート王座決定戦 ポケモンバトル王座決定戦 小銭入れ作り キッズシアター 戦争のお話 キッズ怪談 肝試し プレスレット作り キッズクラブお楽しみ会	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	参加型イベントにて保護者会開催
9	一斉下校17:00	防災消火訓練 キッズシアター 検定週間 キッズ縁日 アイロンビーズ スマブラ王座決定戦 昔のおもちゃを作って遊ぼう キッズ運動会 ドミノ記録にチャレンジ	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	
10	一斉下校16:30	戦闘中 マグネット作り レッツプレイ卓球 キッズシアター スクイーズ作り スマブラ王座決定戦 衣装作り週間 ハロウィンパーティー	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	
11	一斉下校16:30	防犯訓練 レッツプレイバスケットボール 検定週間 将棋王決定戦 アイロンビーズ 年賀状作り キッズシアター シュシュ作り	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	

12	一斉下校16:00	ツリー作り RUN! KIDS レッツブレイダンス お楽しみ会 スマブラ王座決定戦 ミニ本作り レッツブレイバドミントン 大掃除&忘年会	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	年末休業12/29~31
1	一斉下校16:00	書初め 正月遊び&飾り作り 初詣 防災訓練	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	年始休業 1/1~3
2	一斉下校16:00	豆まき 検定週間 黒板作り 雛飾り作り 他	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	
3	一斉下校17:00	新入生プレゼント作り お花見会 検定週間 他	ゲームクラブ パソコンクラブ 運動クラブ 動画クラブ	第1回保護者会 入会説明会

(1) 校外活動

- ・バス遠足、卒業遠足を企画しましたが、新型コロナウイルスの影響で、やむなく中止しました。

(2) 地域参加イベント

- ・6月に地域の方のご協力を得て「流しそうめん」を行いました。保護者が参加できるよう土曜日の午前中にかけて3日間開催し、保護者の方々と交流をしました。

(3) その他イベント

- ・昨年に引き続き、ウイズコロナを念頭に、感染対策をしたうえで、出来る限り可能なイベントや運営を行いました。

8 保護者関係

- ・保護者参加型イベントを6月「流しそうめん」と8月「肝試し」に実施し、保護者の方々と交流を図りました。また、3月に保護者会と一緒に入会説明会を開催し、キッズクラブの活動の様子を新入生の保護者の方々にも見て頂く事で、よりキッズクラブの活動について理解して頂くことが出来ました。

尚、年度途中に、保護者の方々にアンケートを取り、質問や要望についての回答については、保護者専用アプリ「コドモン」にて掲載、保護者会でも説明する事ができました。

9 学校との連携

- ・児童専任、校長、副校長の3名の方と定期的に打ち合わせを行うだけでなく、毎日職員室へ行きその日の児童や学校の情報を交換しました。

10 地域関係

- ・今年度も地域主催の会議や集まりも中止が多く、流しそうめん以外の交流は出来ませんでした。関わりのある団体の代表とは、電話や手紙で連絡を取りました。

11 防災対策・防犯対策

- ・火災避難訓練年（2回）
- ・地震避難訓練（年2回）
- ・防犯訓練（年1回）

上記の訓練を不定期で行いました。

- ・下校指導（ほぼ毎日）

子どもたちの下校指導は、職員の余裕があるときには必ず行いました。

1 2 広報関係

- ・毎月キッズ便りを発行し、キッズクラブの情報を保護者や学校に伝えました。

1 3 その他

- ・昨年同様、区分1の限定受け入れによって、イベントの時間や人数に制限がかかり、運営が難しい場面ありましたが、感染対策を講じ、参加した児童に様々な体験をしてもらえるよう職員一丸となって努力しました。職員も児童も感染対策に慣れてきて、スムーズに活動が出来ました。学校とも連絡を密にして、特に気になる児童の様子の変化や、対応について話し合い、情報を共有する事が出来ました。これからも児童や保護者に安心感を与える環境作りが出来るよう配慮したいと思います。
- ・感染予防対策が職員、児童ともに習慣化し、学校で感染者が出ても、キッズクラブ内で感染することなく一年間過ごせました。